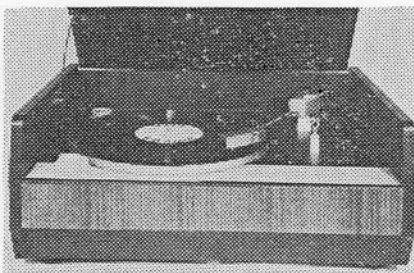


国内新製品紹介

パイオニアの ST プレーヤー

“PL-5”

プロ級にも匹敵するステレオ・プレーヤーである。カートリッジはオーディオ・テクニカ社製のムービング・マグネット型で、0.7ミルのダイヤ針がつき、出力は各チャンネル 0.5 mV である。独特のカンチ・レバーによるカートリッジにさらにシールドを施して S/N 比の向上をはかっている。トーン・アームはダイナミックバランス型。モーターはシンクロナス・モーターで、ターン・テーブルは直径 30 cm のアルミキャストによるもので、重さは 1.4 kg である。ワウは 0.2±0.05% 以下、S/N 比は 47 dB 以上。チャンネル・アイソレーションは 20 dB 以上 (1 kc にて)、周波数特性は 20~21000 c/s、インピーダンス 1.5 kΩ、針圧 3~4 gr。トラッキング・エラー ±1° となっている。外形寸法は幅 513×高さ 210×奥行 397 (mm) である。現金正価は ¥25,500。

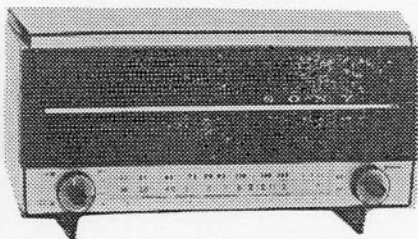


(東京都文京区音羽町 6 の 5 Tel: 941-3181)
パイオニア K.K.

ソニーの新製品 3 種

●7 石 2 バンド・ラジオ “TR-726”

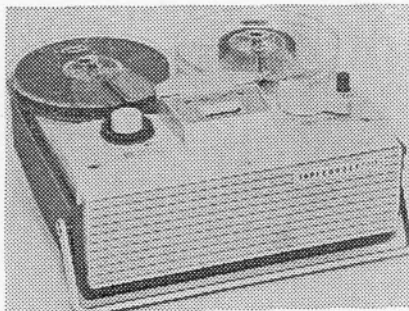
オール・トランジスターで出力 1.8 W というホーム・ラジオである。受信周波数は 535~1605 kc と 3.9~12 Mc の 2 バンドで、出力回路は 2SB26×2 の OTL 方式で、最大出力 1.8 W、無歪 1.3 W となっている。スピーカーは 13×19 cm の楕円型 (8 Ω) のものである。音質はハイ、ロウ、フラットの 3 段切換え式。



またテープ・レコーダーへの録音も、レコード・プレーヤーのアンプとして使うことも手軽にできるように端子が出ている。電源は単一×8 の 12 V である。外形寸法は 195×387×144 (mm) で、重量は電池ともで 3.3 kg である。現金正価は ¥12,500。

●小型テープ・レコーダー “TC-211”

コンパクト・スタイルの録音機であるが、マイク、ラジオなどのミキシングも可能である。モニター・イヤホンで、ラジオやレコードの音楽を入れながら自分の声も入れられる。また連続可変のトーン・コントロールもついている。使用真空管は 6267, 6AV6, 6AR5 各 1 個に録音指示管、シリコン整流器である。使用リールは最大 5 号まで、テープ速度は 9.5 cm/秒 と 4.75 cm/秒 の 2 スピード。ソニー・テープ・スーパーを使えば、9.5 cm/秒のとき 1 時間半、4.75 cm/秒なら 3 時間の録音ができる。最大出力は 1.5 W。出力ジャックは外部スピーカー用とモニター用 (再生時ライン出力) 各 1 個、マイクは F-7BE ダイナミック型となっている。外形寸法は幅 255×高さ 130×奥行 220 (mm) で、重量は約 4.5 kg となっている。現金正価は ¥21,500。



●家庭用テープレコーダー “TC-102”

使用真空管は 2SD64, 6AU6, 5AR4, 5MK9, 6ME5 各 1 個で、ヘッド・アンプにはノイズやハムの少ないトランジスターを使っている。本機もマイクの音とラジオやレコードとをミキシングでき、8 ミリや放送劇の背景音など作ることができる。8 ミリ同期用のストロボもついている。使用リールは最大 7 号までで、テープ速度は 19 cm/秒 と 9.5 cm/秒の 2 スピードである。ソニー・テープ・スーパー-7 を使用すれば 9.5 cm/秒 で 3 時間の録音ができる。ワウ・フラッターは 0.2% 以下、最大出力は 2 W、周波数特性は 19 cm/秒 のとき 50~13,000 c/s、9.5 cm/秒 のとき 50~8,000 c/s となっている。入力ジャックはマイク (600 Ω)、ラインが各 1 個、出力は外部スピーカーとライン各 1 個とな

っている。トーン・コントロール、モニター回路はもちろんのこと、本機にはテープ・カウンターもついている。外形寸法は幅 340×高さ 190×奥行 265 (mm) で、重量は約 8.9 kg である。現金正価は ¥29,800。



(東京都品川区北品川)

ソニー K.K.

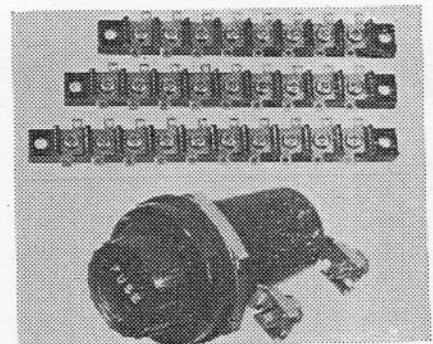
佐藤部品の新製品 2 種

●U 型端子台

モールドの寸法は幅 18 mm、高さ 12.5 mm で各 P の中心間隔は 11 mm のもので 1 p より 20 p までがある。使用ビス寸法は頭 7 φ、長さ 7.5 mm、ネジ 3 mm である。絶縁耐圧は AC 2000 V で 1 分間は異常なし。材質はフェノール・レジン、絶縁抵抗は DC500V (MΩ 計にて 100 MΩ 以上)、定格電圧、電流は 125 V、6 A となっている。

●大型挿入式フェーズ・ホルダー “30A 型”

配電盤などの大型フェーズ使用個所に最適のもので配線の取付けはビス止めとなっている。耐圧は AC1500V 1 分間、絶縁抵抗は 500 V 計 100 MΩ。取付穴径 33 φ、使用フェーズ型式規格は JIS C-8314, CF2、材質はモールド部はフェノール樹脂。端子は黄銅材である。



(東京都渋谷区恵比寿通り)

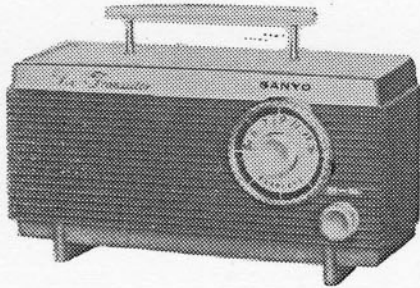
佐藤部品 K.K.



三洋の新製品 2 種

●6石ホーム・ラジオ“6C-06”

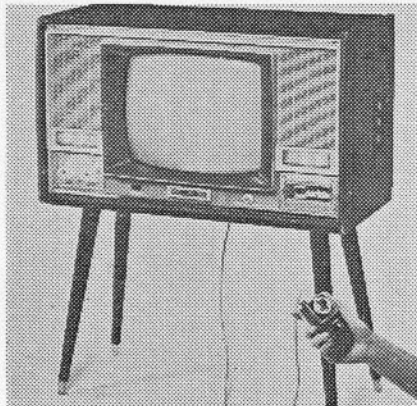
530~1605 kc のシングル・バンドであるが、家庭用トランジスター・ラジオとしては初めて 5000 円を切る製品で、定価は ¥4900 となっている。感度は 150 μ V/m。電氣的出力は最大 450 mW、無歪 280 mW。内蔵スピーカーは 10 cm (VC インピーダンス 4 Ω)、電源は単二×4 の DC 6V を使っている。外形寸法は横 252×高さ 135×奥行 102 mm で、重量は 910 gr (電池別) である。



●16 型オートリコン

“16-F700M”

チャンネル切替のつまみをなくし、リモコンによりモーターを制御してゆく完全オート・リコン方式である。また AFT (自動微調整) と ABC (自動明暗調整)、AHC (自動振幅補償) がついている。チューナーにはマイクロスター 3D-HH13 を使用している。音声出力は無歪で 2.0 W。スピーカーは 11×25 cm の長楕円型 2 個とコンデンサー・トゥイーターが 2 個内蔵されている。外形寸法は横 710×高さ 410×奥行 340 (mm) で、重量は 22 kg である。現金正価は ¥66,000。



(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)

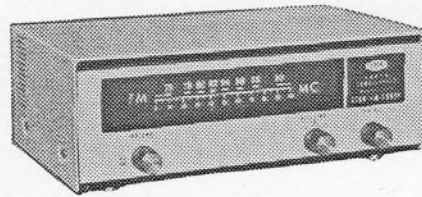
三洋電機 K. K.

スターの新製品 7 種

●FM チューナー“FM-200”

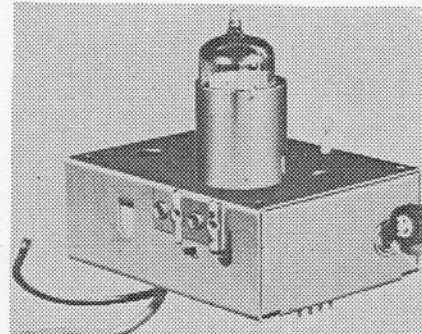
手持ちのラジオ、テレビ、電蓄などに接続して手軽にきける超高度の FM チューナーである。中間周波 3 段にレシオ検波 (6A08, 6AU6×3, 6AL5, シリコン・パワーダイオード)

という内容で、内蔵のアンテナだけで充分に受信できる。またバリキャップを内蔵し同調のズレも防いでいる。完全トランス式、グリッド・プレート同時リミッターで雑音の混入はない。受信周波数は 75~90.5 Mc、感度は 1.5 μ V/83 Mc (S/N 20 dB にて)。選択度は 150 kc (-6 dB)。イメージ比 30 dB 以上 (83 Mc)、周波数特性は 20~20,000 c/s、S/N 比はアンテナ入力 40 dB において 60 dB 以上。歪率は 0.8% 以下、ディエンファンスは標準特性において \pm 3 dB 以内。端子はアンテナ入力、PU 入力、MPX、FM-PU 出力となっている。外形寸法は幅 310×高さ 110×奥行 200 (mm) で、重量は 3.8 kg である、現金正価は ¥9,850。



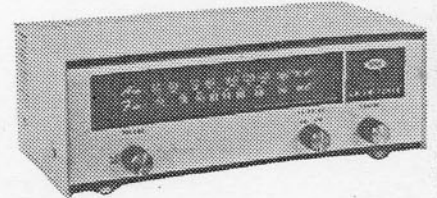
●FM チューナー・ユニット

FM チューナーの製作に便利なフロント・エンドで、高周波増幅とミキサー部分を一体としたもので 10.7 Mc の出力が取り出せる。トラッキングも完全調整済み、回路は欧州系の回路と特殊 μ 同調を採用してあり、ハウリングや周波数漂動はない。全体は金属ケースによりシールドされていて不要放射が非常に少なくなるように設計されている。なお、スターの FM チューナー・ユニットには下表の種類がある。



●AM/FM 2 ウエイ・チューナー “FM-250”

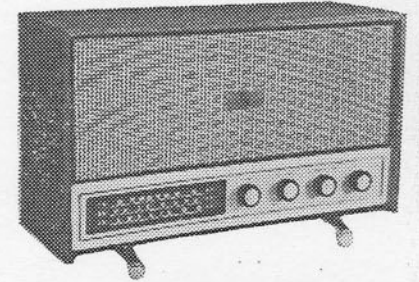
AM: 535~1605 kc, FM: 76~90 Mc のチューナーで、ラジオや電蓄につないで使うものである。入力感度は AM が 25 dB, FM が 30 dB, S/N 比は AM 部が 5 mV 入力で 30 dB, FM 部が 40 dB となっている。消費電力は 20 W。外形寸法は横 320×高さ 190×奥行 115 (mm) である。



●3 バンド FM/AM ラジオ

“FR-300”

受信周波数 535~1605 kc, 3.8~12 Mc, 76~90 Mc で、感度は出力 50 mW で BC 10 μ V 以下, SW 25 μ V 以下, FM 1.5 μ V 以下となっている。中間周波数は AM が 455 kc, FM が 10.7 Mc, イメージ比は BC 40 dB 以上, SW 30 dB 以上, FM 25 dB 以上である。FM 部の歪率は 0.8% (1 W 出力時)、PU の入力感度は 0.1 V (1 W 出力時)、使用スピーカーは 16 cm ダブル・コーンのものである。FM 部は同社のノン・ハウリングのチューナー・ユニットと特別設計の IFT を使っている。また FM ステレオの受信もできるよう低インピーダンスのマルチプレックス端子がついている。使用真空管は 6A08, 6AU6×3, 6BA6, 6AL5, 6BM8, シリコン・パワー・ダイオードである。外形寸法は横 500×高さ 320×奥行 200 (mm) となっている。

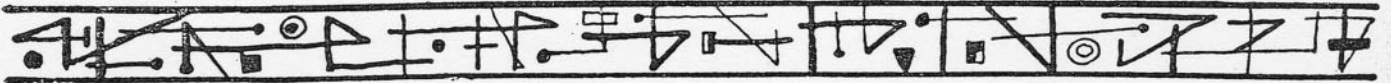


●2 バンド通信型受信機キット

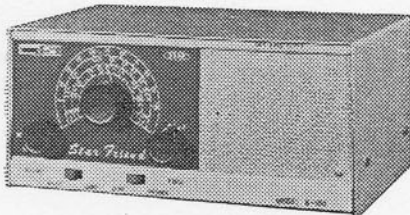
“R-100”

[スター・FM チューナー・ユニットの規格]

種類	真空管	利得	イメージ妨害比	I F リジューション		現用
FU-36B	6A08	35 dB	25 dB	50 dB	AFC 無	FM-250
7B	12DT8	"	"	"	"	
8B	17EW8	"	"	"	"	
FU-36DAFC	6A08	"	"	"	AFC 付	FM-200 & FR-300
7BAFC	12DT8	"	"	"	"	
8BAFC	17EW8	"	"	"	"	
FU-46B	6A08	"	"	"	"	
7B	12DT8	"	"	"	"	
8B	17EW8	"	"	"	"	

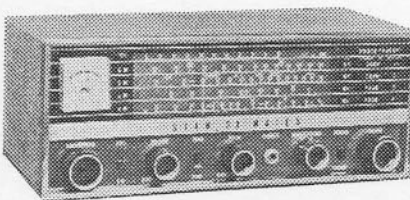


HAM, SWL 用に簡単に組立てられるキットである。使用真空管は 6BE6, 6BA6, 6AV6, 6AR4 で、受信周波数は 535~1605 kc と 3.5~10 Mc である。感度は 50 mW の時 BC が 10 μ V, SW が 25 μ V である。出力は 1W, 内蔵スピーカーは 10 cm。なお、1:3 のバーニア・スプレッドバリコンを使用しているので同調に便利である。BFO 回路の採用により電信の受信が可能、完全トランス式パワーダイオード整流により電源は安定である。外形寸法は横 250×高さ 120×奥行 210 (mm)。現金正価は \yen 6,300。



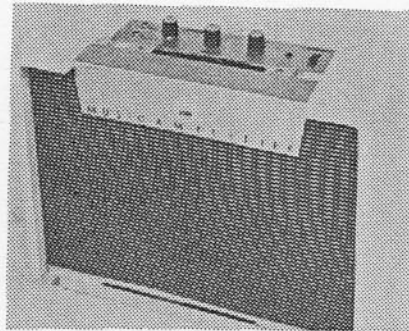
●オール・バンド通信型受信機
“SR-40”

540~1605 kc, 1.6~4.4 Mc, 4.5~11 Mc, 11~30 Mc の 4 バンドで、3.5 Mc, 7 Mc, 21 Mc, 28 Mc のハム・バンド直読目盛のバンド・スプレッドがついている。目盛は各バンドとも 100 等分で目盛ってある。また S メーター、BFO 回路もついている。選択度は IF 段において 10 kc 離調で -25 dB, 感度は出力 50mW のとき、BAND 1 が 10 μ V, BAND 2, 3 が 20 μ V, BAND 4 が 80 μ V である。出力は 1.5 W で、10 cm スピーカーが内蔵されている。使用真空管は 12BE6, 12BA6, 12AV6, 50C5, シリコン・ダイオードである。なお本機には 1.3 m までのびるロッド・アンテナが付属しており、BC バンドはこれで充分である。現金正価は \yen 14,000。



●小型ミュージック・アンプ
“MA-30”

本機はスチール・ギター、電気ギターなどに使うための小型アンプである。小型ながら出力は 6W まで出せる。しかも楽器とマイク、または 2 個の楽器のミキシングもできるし、トーン・コントロール(1kc -3dB, 10kc -18dB) もついている。周波数範囲は 80~30,000 c/s, 感度は出力 1W のときハイ・インプットで 2.5 mV, ロー・インプットで 110 mV で、ギター・マイク、ハーモニカ・マイクなどどんな型のマイクも使うことができる。使用真空管は 12AX7, 6BQ5, 6X4 で、スピーカーは 16 cm が入っている。外形寸法は横 440×高さ 360×奥行 170 (mm)、重量は 8 kg である。



(東京都港区芝三田 1 の 6 Tel: 451-4121)
K.K. スター

K.S. のフォノモーター
“KR-800D”

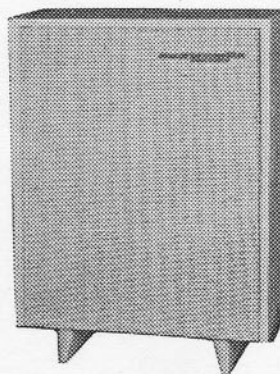
4 極のインダクション・モーターに、ダイナミック・バランス型のアーム、ムービング・マグネット型のステレオ・カートリッジにダイヤモンド針つきのものである。ターンテーブルは 30 cm アルミ鋳物である。定価は \yen 18,000 (ケース入りは \yen 24,800)



(名古屋市北区城東町 6-144)
発売元 ケイエス商事 K.K.
製造元 鈴木電機 K.K.

クライスラーの SP システム
“SS-200”

20 cm の
ウーファー
と 6 cm の
トゥイター
を組み合
わせた 2ウ
エイのスピ
ーカー・シ
ステムであ
る。入力イ
ンピーダンス
は 16 Ω 。
再生周波数
帯域は 50~



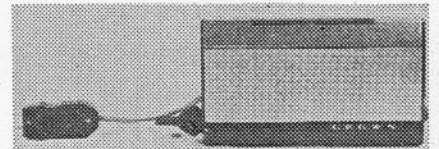
16000 c/s, 最大許容入力 は 8 W。外形寸法は横 510×高さ 720 (脚 90)×奥行 315 mm で、重量は 15.5 kg である。

(東京都千代田区神田旅籠町 2 の 1)
クライスラー電気 K.K.

クラウンの充電式 9 石ラジオ
“TR-900R”

電源には半永久的といわれる二次電池ニッケ

ル・カドミウム電池 5 個 (6.25 V) を使っているので時々充電してやればよい。なお単三 4 個を使うための電池ケースもついている。受信周波数は 535~1605 kc, 感度は 100 μ V/m/10 mW, S/N は 10 dB 使用トランジスターは 2SA101×2, 2SA102×2, 2SB75×3, 2SB77, 2SD77, にダイオード SD46 で、終段は OTL である。出力は無歪 100 mW, 最大 180 mW。スピーカーは 6.4 cm。10 ϕ ×140 mm のバー・アンテナ内蔵。L-H のトーン・スイッチもついている。外形寸法は 98×166×32 (mm) で、重量は電池ともども 470 gr。定価は \yen 8,700。

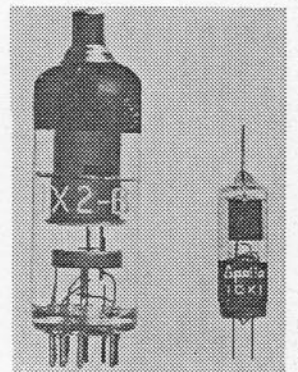


(東京都台東区東馬場 3 Tel: 832-6271)
クラウン K.K.

アポロのマイクロ管 “1DK1”

小型電子管メーカーである太陽電子より売り

出されたマイクロテ
レビ用の超小型
整流管である。写
真の左は普通の
テレビ用整流管
1X2-B であり、右
が 1DK1 である。
その特性を列記
すると、全長
32 mm, 外



径 10 mm, 重さ 3.2 gr, フィラメント電圧 0.7 V, フィラメント電流 0.2 A, 最大電圧 6500 V。

(東京都品川区東戸越 5 の 22
Tel: 782-4176)
太陽電子 K.K.

アルプスの総合技術カタログ

現在アルプスで生産している各種パーツの技術的データを集録し、ルーズリーフ式としてある総合カタログができた。現在のところ、スイッチ関係 70 頁、バリコン 142 頁、ボリューム 62 頁、チューナー 18 頁で、合計 292 頁と





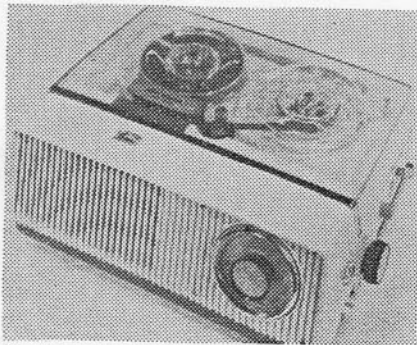
なっており、今後新製品が出版は同形式のものが発行されてつけ加えてゆくようになってくる。また、一般に配布されるのは製本されたもので実費を支払うようになる。

(東京都大田区雪ヶ谷町 247 Tel: 782-2121)

片岡電気 K.K.

日立のポータブル・ テープレコーダー ベルソーナ “TRT-398”

ラジオを聞きながら録音もできる、ラジオつきのポータブル・テープレコーダーである。従来ラジオとテープレコーダーを近くに置くとテープレコーダーの発振周波数がラジオに混信するトラブルがあったが、この点が厳重なシールドによって解決されている。使用トランジスタは 10 石で、ラジオ部 (535~1605 kc) は 7 石スーパーで、そのうち 4 個はテープレコーダーと共用である。テープレコーダーの方は使用リールは 3 号、テープ速度は 9.5 cm/秒 と 4.75 cm/秒 の 2 スピード、録音は交流バイアス、消去は直流消去方式である。モーターはガバナつき直流モーターを使い、電源は単一×4 の 6V である。出力は 500 mW。入力インピーダンスはラジオ 1000 kΩ、マイク 30 kΩ。出力インピーダンスは 10 Ω となっている。電池の寿命は連続使用で 15 時間、断続で 30 時間であるが、AC アダプターもあって AC を使うこともできる。また録音内容をスピーカーで聞きながら録音できるスピーカー・モニター方式である。もちろんイヤホンでもきける。マイクにはリモコン・スイッチがついている。外形寸法は幅 265×高さ 110×奥行 205 (mm) で、重量は電池ともで 3 kg である。現金正価は ¥ 38,800



(東京都千代田区大手町新大手町ビル)

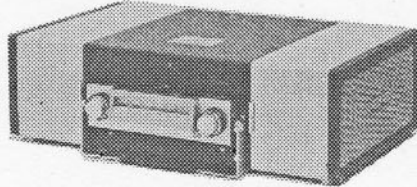
K.K. 日立製作所

アイワの新製品 2 種

●FM/BC/SW ステレオ・ポータブル・プレーヤー “P-171”

FM: 76~90 Mc, AM: 535~1605 kc, SW: 3.6~10 Mc の 3 バンド・チューナーをもつオール・トランジスタのステレオ・プレーヤーである。写真では分りにくい、左右についた白いボックスにスピーカーがはいていて、左右にとりはずすことができるようになってくる。使用トランジスタは 17 石、ダイオードは 5

石で、出力は最大 1W×2、スピーカーは 10×15 cm 楕円型のもが使われている。モーターは DC 9V で働らく、スピードは 33 $\frac{1}{3}$ 、45、78 rpm で、ビックアップはクリスタル・ターンオーバー型ステレオ・カートリッジ (ダイヤ針つき) である。外形寸法は横 562×高さ 150×奥行 312 (mm) で、重量は 7 kg である。AC 電源の使用も可能である。定価は ¥ 33,500。なお、本機の中味はグラビア頁参照。



●3 バンド 8 石ラジオ “AR-804”

トランジスタ 8 個、ダイオード 1 個、サーミスター 1 個を使ったもので、受信周波数帯は 535~1605 kc, 1.6~4 Mc, 6~16 Mc である。内蔵のフェライト・バー・アンテナと、11 段引伸ばしのロッド・アンテナを採用して高感度を得ている。出力は最大 300 mW、無歪 200 mW。トーン・コントロールつきである。スピーカーは 7.5 cm のものを使っている。消費電流は無信号時に 12 mA、最大 100 mA である。電源は単二×6 の 9V。外形寸法は 254×184×69 (mm)。

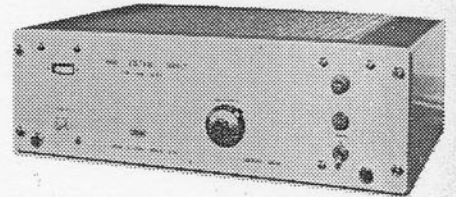


(東京都千代田区神田黒門町)

アイワ K.K.

星電機の直流安定化電源

本器は電子管式の直流安定化高圧電源である。リップルが少なく、金属被膜抵抗器などの使用により良好な安定度を得ている。出力電圧は DC 300~3000 V (一操作で連続可変)、出力電流は 3000 V 0.3 mA, 2500 V 0.5 mA, 2000 V 0.8 mA, 1500 V 以下は 1 mA となっている。出力の電圧変動は AC 入力電圧 ±10% の変化に対して ±0.5 V 以下、負荷 100% 変化に対して 1 V。脈動率は 10 mV p-p 以下。ダイヤル誤差は ±1.5%、メーター誤差は ±15%。使用温度は -10°C~+40°C、その他過電圧防止器や、ダイヤル・ロックもついている。所要電力は約 60 VA。ケースの寸法は幅 485×高さ 155×奥行 350 (mm) で、重量は約 4 kg である。



(川崎市小杉御殿 2 の 29 Tel: 0472-9161)

K.K. 星電機製作所

ニートのベルト・ドライブ フォノモーター “P-88V”

トランスクリプション型、2 スピードの 35 cm の本格的なベルト・ドライブ方式のものである。本機にはモーター・ブリーとフライホイールの中に精密加工をした中間ホイールをおいた独特の設計のものである。

正価は ¥ 31,000



(東京都千代田区神田旗籠町 1 の 4)

ニート音響 K.K.

イタリアの新製品?

同じものが 2 つならんでいるのではありません。これは、左が日本の SONY、右がイタリ

アの BGC 製のトランジスタ・ラジオです。つまり、イタリアのメーカーがソニーのデット・コピーをしたものを売出して、日本にまでまわってきたのです。日本の製品も外国に真似されるようになったとは大したものです。

